

秋田公立美術大学 大学院

複合芸術 研究科

修了研究 展

2022年2月16日-20日
10:00-18:00

秋田市文化創造館

2F スタジオB

・入場料無料 (Admission Free)

・休館日なし

・最終入場17時30分まで

※初日のみ13時から

※最終日は最終入場16時30分まで(17時閉場)

【会場】

秋田市文化創造館2F スタジオB

〒010-0875 秋田県秋田市千秋明徳町3-16

【主催】

秋田公立美術大学卒業・修了展2022実行委員会

秋田公立美術大学

【後援】

秋田市／秋田魁新報社／NHK秋田放送局／ABS秋田放送

AKT秋田テレビ／AAB秋田朝日放送／CNA秋田ケーブルテレビ／あきびネット

【来場時のお願】

①マスクの着用と手指の消毒にご協力ください。

②新型コロナウイルス感染症の影響で展覧会・イベント内容が変更となる場合がございます。

③入場規制を行う場合がございます。あらかじめご了承ください。

【お問い合わせ】

秋田公立美術大学事務局 学生課

TEL.018-888-8105(平日8時30分-17時15分)

大衆HP—<https://www.akita-u.ac.jp/daijukuin/>

秋田公立美術大学 大学院

複合芸術 研究科

修了研究 展

2022年2月16日-20日
10:00-18:00

秋田市文化創造館

2F スタジオB

・入場料無料 (admission free)

・休館日なし

・最終入場 17:30まで

※初日のみ13:00から

※最終日は最終入場 16:30まで (17:00閉場)

【主催】

秋田公立美術大学卒業・修了展2022実行委員会

秋田公立美術大学

複合芸術研究科は、秋田公立美術大学卒業・修了展2022において第4期生による修了研究展を開催します。多様な専門領域の経験と視座から「複合芸術」を研究する本研究科において、異なる専門性をもつ私たちは同じカリキュラムと同じ時間を共有し、影響を与え合いながら自身の専門性を一層深めてきました。自らが専門としてきた領域の外部に越境して様々な領域の実践手法を学ぶことは、従来の文化芸術の文脈から跳躍した新たな視座をもたらすものです。

私たち4期生が過ごした日々は新型コロナウイルス感染症の世界的な蔓延によって社会の姿が大きく変化した2年間でした。施設使用の制限、集団での活動の機会の喪失など、大学院において研究・表現の活動を進める上で圧倒的に不利な状況が私たちの前に立ち現れ、そして不可視の感染症に対する未経験の不安と緊張と共に過ごしてきました。しかし、私たちは、「ないからこそつくる」という切実な欲求を持つことで「表現とは何か」という根源的な問いをあらためて自らの課題として引き受け、各自の研究に取り組んできました。たとえこれまでのグループダイナミクスによる研究・実践の活動形態が得られなくとも、個人間の対話を積み重ねることでより確かな密度を持つ領域複合の実践が可能になることを実感しています。不確実な社会の状態に対する応答として築き上げてきた私たち一人一人の研究成果を、ご高覧ください。

(複合芸術研究科4期生一同)

[参加作家]

- 邱天宇 | Tianyu Qiu
中国でのジェンダー教育の現状に基づく絵本デザイン
—ジェンダーパラダイムの多元化をめぐる研究—
- 周金晶 | Jinjing Zhou
子供たちが多文化共生について学ぶためのビジュアルデザイン
—アイヌとホジェン族を中心として—
- 正保千春 | Chiharu Shobo
漆と紙を用いた新しい漆器のデザインと加工法の開発
- 竹浦曾爾 | Soni Takeura
「黙の星」
“ショット”を再考することによる新たな映画表現への思索
—ペドロ・コスタの映画論を手がかりとして—
- 武田彩莉 | Ayari Takeda
アーティストの往来と制作
—北海道での事例の聞き取りから—
- 谷口業優 | Mayu Taniguchi
「地域に擬態する」アートプロジェクトに関する研究
- 並川詩織 | Shiori Namikawa
食品添加物が切り開く新たな領域の模索
—ファルマコンを手がかりとして—
- 安村卓士 | Takuji Yasumura
おもちゃ作品とプレイルーム
—人間の存在へはたらきかける「あそび」空間の創出—
- 劉幸運 | Kingyun Liu
螺鈿蒔絵と乾漆の複合研究
—乾漆造形と植物文様の構成と表現—
- 施順徳 | Shunde Shi
歩行感覚の誘導デザインによるあらたなパブリックスペースの提案
—中国杭州における自治型青年コミュニティのための空間計画—

[イベント情報]

「オープニングセレモニー」

日時:2022年2月16日[水] 13:00-13:30

会場:秋田市文化創造館1F コミュニティスペース

「福住廉氏による公開講評」

日時:2022年2月19日[土] 13:00-14:30

会場:秋田市文化創造館2F スタジオB

修了研究展会場を巡りながら、美術評論家の福住廉氏による公開講評を行います。

「トークイベント」

日時:2022年2月19日[土] 15:30-17:00

会場:秋田市文化創造館1F コミュニティスペース

ゲストに福住廉氏をお招きし、本学教授で美術家の岩井成昭氏が聞き手となり修了研究展を手がかりに「複合芸術」についてトークを行います。

[お問い合わせ]

秋田公立美術大学事務局 学生課

TEL 018-888-8105 (平日8:30-17:15)

[後援]

秋田市／秋田魁新報社／NHK秋田放送局／ABS秋田放送／AKT秋田テレビ
AAB秋田朝日放送／CNA秋田ケーブルテレビ／あきびネット

[ご来場時のお願い]

- ① マスクの着用と手指の消毒にご協力ください。
- ② 新型コロナウイルス感染症の影響で展覧会・イベント内容が変更となる場合がございます。
- ③ 入場規制を行う場合がございます。あらかじめご了承ください。

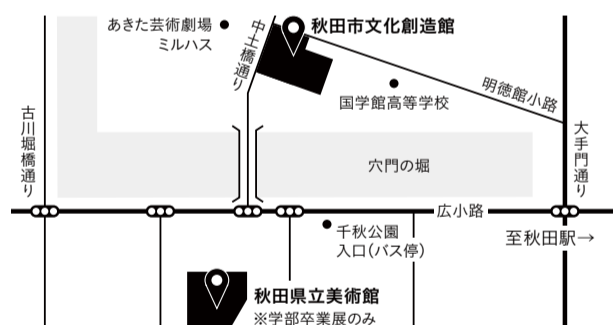
[会場アクセス]

秋田市文化創造館2F スタジオB

〒010-0875 秋田県秋田市千秋明徳町3-16

秋田駅西口より徒歩10分、秋田中央交通路線バス「千秋公園入口」下車徒歩5分

※車でご来館される際は、近隣の有料駐車場をご利用ください。



[複合芸術研究科とは]

秋田公立美術大学大学院複合芸術研究科は、社会と文化の関係性の変容のなかで領域と役割の拡大が続く現代の創造系諸分野を「複合芸術(Transdisciplinary Arts)」の視座と実践をとおして研究する、世界で唯一の美術系大学院です。

本研究科の考える「複合芸術」とは、単に複数の表現技法や素材が集合・統合されることを意味するものではありません。自らが専門としてきた領域の外部に越境し他の異なる領域の実践手法を学び自らの活動に組み込むこと、そして既存の事物や現象を複合的に構成する諸要素の関係性を点検しそれらを現代と未来の立場から再配置することをとおして表現領域と社会の新たな可能性を創出する取り組みの全体系を、私たちは「複合芸術」と考えます。

カリキュラムにおいては専門領域の異なる複数の教員と学生が主体的に交流して学生一人一人の研究の形を育むチームティーチングの指導形式(本研究科ではこれを「セッション」と呼びます)を採用しています。学生は「セッション」による複合芸術の学びをとおして、個人研究を自らの内外に広く深く展開・実現させてゆきます。

[学部生による卒業展情報] ※同時開催

会場1: 秋田県立美術館1F 県民ギャラリー | 〒010-0001 秋田県秋田市中通1-4-2

会場2: 秋田市文化創造館 | 〒010-0875 秋田県秋田市千秋明徳町3-16



本学大学院HP(展覧会情報を公開中)